

## 2020公共交通シンポジウム

### アフターコロナの地域公共交通

～人々の豊かな暮らしを支える基盤として機能し続けるために～

日 時 : 令和3年3月3日(木) 14:30~17:00

開催形式 : オンライン配信

講 師 : 横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院 教授 中村 文彦 氏

前橋市 政策部交通政策課 課長 細谷 精一 氏

株式会社みちのりホールディングス 代表取締役グループCEO 松本 順 氏

交通ジャーナリスト 鈴木 文彦 氏

事前申込 : 282 名



2021年3月3日(水)に2020公共交通シンポジウム「アフターコロナの地域公共交通～人々の豊かな暮らしを支える基盤として機能し続けるために～」をYouTube Liveでのオンライン配信にて開催しました。

関東運輸局交通政策部では、2017年より「関東運輸局ビジネス講座」と銘打ち、公共交通・観光・物流・バリアフリー等、運輸局の業務に関係する題材をテーマに外部より講師を招いて公開講座を開催しています。本シンポジウムはその特別回(第22回)として開催したもので、全国から282名の方々に事前に申込みいただき、当日の配信をご覧いただきました。

基調講演として、都市交通計画を専門とする横浜国立大学 中村 文彦 教授から「法改正を契機とした地域公共交通の大改革への期待」と題して、地域公共交通活性化再生法や独占禁止法などの改正を受けて地域公共交通がどのように変わっていきえるのか、MaaSの活用や新型コロナウイルス感染症の影響による移動の変化や今後の可能性等について、ご講演いただきました。

続く事例発表では、前橋市 細谷 氏から「競争から共創による交通再編の取り組み」について、(株)みちのりホールディングス 松本 氏から「アフターコロナを見据えた交通事業者のCXとDX」について、交通ジャーナリストの鈴木 氏から「コロナ後の公共交通の行方とそれぞれの主体の役割」についてご説明していただきました。

最後に、パネルディスカッションにて廣田交通政策部長をコーディネーターとして、ご登壇いただいた講師の皆様、参加者の方からお寄せいただいた、自治体と事業者が連携した利用促進活動に関する質問等についてご回答いただきました。



本シンポジウムは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発令中の開催のため、関東運輸局では初となるオンラインでの配信となりました。参加者の皆様からは、「実開催と変わらないと感じた」、「オンライン配信により、効率的で気軽に参加できる点が良い」との意見を頂きました。開催にあたりご協力いただいた皆様には、事務局一同、心から感謝申し上げます。また、ご参加いただいた皆様におかれましては、本シンポジウムで聴いて、見て、感じていただいたことが、地域公共交通の課題改善や、アフターコロナの時代における生活や移動の変容に対応する交通の維持・発展に少しでもお役に立ちましたら幸いです。

#### 【参加者感想】

- ・学識経験者、行政、事業者、ジャーナリストと多方面かつ様々な視点からの意見が聞くことができ、理解を深めることができました。
- ・非常に関心の高いテーマで、本シンポジウムは大変参考になりました。オンラインでのシンポジウムも初めてでしたが、わかりやすく、よかったです。
- ・それぞれ立場の違う登壇者が、それぞれの立場で考えを述べており、非常に興味深く視聴することができました。
- ・規模の大小はあると思いますが、コロナで大打撃の中、アフターコロナ後の発展の為に様々な考えていることの方角性が間違っていなかったと思えたことがとても良かったです。

